

## 令和6年度 ララスマイル 事業所による自己評価総括表（公表）

保護者評価実施期間：令和6年10月4日～10月31日 対象者数：56 回答数：43 従業者評価実施期間：令和6年10月4日～10月18日 対象者数：10 回答数：10

自己総括表作成日：令和6年11月11日 公表日：令和6年11月 日

	事業所の強みだと思われること (より強化・充実を図ることが期待されること)	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多種多様な活動プログラムの提供	子どもの状況や発達段階に合わせてプログラムを起案している。年齢の異なる子ども同士で活動する機会の設定や子どもたちが自分たちで考え、話し合い活動する機会がある。	子どもの意向を聞き取り活動に取り入れる。仲間づくりにつながるグループ設定。
2	小・中・高・社会人と成長を見据えた支援提供	ライフステージに合わせた事前学習として、体験する機会を設定。法人内事業所とも連携して、見学や体験の機会につなげている。	実生活につながる社会体験を得られる工夫。
3	保護者との情報共有と相談の機会	原則、お迎えをお願いしていて、対面で日々の様子について情報共有や相談に応じている。連絡帳や本人のチェック表等を用いて、状況把握と共通認識をもてるようにしている。	利用日に限らず、状況共有ができるよう、電話・メール・LINE等を活用して、状況を把握し支援に活かしていく。

	事業所の弱みだと思われること (事業所の課題や改善が必要だと思われること)	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援の不足（保護者同士の交流の機会）	開催時期や内容について、迷いがあり、具体的な計画にまで至っていない。	保護者アンケートをとるなどして必要とされていることを把握する。外部講師なども含めて検討していく。
2	屋外での活動や地域交流の機会が少ない	行事や外出活動は長期休暇時が中心。個々の状況や発達段階に合わせて必要な機会を提供したいが、時間や体制等によって実現できていない。	早上がりの機会を活かし活動を組み立てる。個々の状況や発達段階に合わせて、少人数での必要な社会体験の機会や地域交流の活動メニューを増やす。
3	お迎え時の混雑（玄関・駐車場）	お迎え時間が重なっている。帰りの支度に時間がかかったり、相談等に応じて話が長くなってしまい、人が滞留してしまう。	余裕をもって、引継ぎ・引き渡しができるよう、保護者と相談のうえお迎え時間をずらす工夫を行う。また、日課や活動時間の見直しを行い、帰り支度の流れに余裕をもてるようにする。